



編集後記

ツナカン
Summer 2013

NPO と学生のちょっといい関係



冊子合宿開催！

NPO インターン冊子の
作成のため、
年末に合宿を行いました。



長期インターンシップ定例会

月に一回、長期インターンシップの定例会を行いました。
インターン参加学生と受け入れ団体のスタッフが参加。
活動の報告や、その後の目標を共有する場に。
また、その後の飲み会などを通し、インターン生同士の親睦も深まりました！

 特定非営利活動法人
アクションポート横浜

〒231-0023
神奈川県横浜市中区山下町25-1 上田ビル401号
TEL/FAX : 045-662-4395
Mail : info@actionport-yokohama.org
HP : <http://actionport-yokohama.org/>
FB : <http://www.facebook.com/actionport-yokohama>

※ 本冊子は電通育英会「学生を対象とする人材育成活動への助成事業」の協力により制作しました。

ツナガルカン^{ケイ}



 ぶっちゃけトーク

 インターン参加学生の声

 NPO と学生の幸せな関係

 参加学生インタビュー



目次

参加学生インタビュー	2
なるほど！NPOインターン 学生の声	4
インターン学生の一曰	5
プログラム内容	6
NPO インターンシップ 参加学生ぶっちゃけトーク	8
活動をふりかえって＆ 後輩へのメッセージ	10
団体インタビュー	12
インターンシップで作る 学生とNPOの幸せな関係	14
参加団体一覧	16
編集後記	18

参加学生インタビュー



横浜国立大学
横山三保さん

インターン先
NPO法人さなぎ達

私がNPO インターンシップに参加したのは、「3年生になって、これまでやってこなかったような新しいことをしたい！」という気持ちからでした。

私のインターン先は、NPO法人さなぎ達。寿町で横浜市寿地区を中心に、路上生活者の人々が、自ら自立に向かいやすい環境を整える活動を行うNPOです。そこでは、寿町で高齢者見守りボランティアに参加したり、さなぎの食堂・家の手伝いや寿町のことを知ってもらうためのプロジェクトに携わりました。

幅広い事業に携わせてもらいましたが、特に私が力をいれてきたのは、寿町のおじさん紹介ムービーの制作でした。

ムービーを制作するにあたり、寿町に住む多くのおじさんへのライフヒストリーのヒアリングをしましたが、寿町に住む人たちは優しく、気軽に話してくれました。これを通じ、この町に住む人は様々なバックグラウンドを持っていると改めてわかると共に、これはこの町の魅力の一つであると思いました。これを通じ、街を知り、街の人を知り、ムービー作成が寿町の温かさを感じるきっかけとなりました。

NPOインターンシップの魅力は、現場を通じて社会の問題が自然と学べる点です。

NPOインターンシップは、普段関わることのない世代の人に会えるし、視野を広げる良いきっかけにもなります。

孤独死や、高齢化の問題は今後日本各地で多く起きていくと考えられると思いますが、この問題がより身近に感じたのも、インターンとして携われたからだと思っています。



フェリス女学院大学
赤木南智さん

インターン先
鯛ヶ崎公園プレイパーク

私がNPO インターンシップに参加したきっかけは、大学の授業でNPOの方との出会いがあったことでした。何か変化したいなと漠然と思っていたときに、NPO インターンシップの存在を知り、参加を決めました。後日、NPOイベントで知り合った、学生たちがとても輝いており、それに刺激されたことも、私が一歩を踏み出せた、大きなきっかけとなっています。

私のインターン先は、鯛ヶ崎プレイパーク。子どもたち

の遊び場づくりや、子どもを見守れる地域づくりをしているNPOです。

プレイパークと一言でいうと、ただ一緒になって遊んでいるだけというイメージがあるかもしれませんが、プレイパークの遊びは、自分で作りあげていく「遊びまでの過程」も大切です。その中で、どのように子どもたちが挑戦し、工夫し、達成していくか、考えて取り組んでいきました。

もちろん、子どもたちと泥だらけになったり、走り回ったり、森の中に秘密基地を作ったり。直接ひとりひとりに関わっていくことで、子どもたちとの関係性も築け、子どもたちの「楽しい」に寄り添えたときに、自分自身も満たされた気持ちになりました。

インターンシップでは、子どもたちだけでなく、お父

さんやお母さん。普段なかなか会うことのない地域の方々に会うことができました。運営している方々を含め、多くの想いや気持ちに触れられたことが魅力だと感じました。

また、その活動が社会でどのような役割を持っているのか、その活動がどのように人への影響するのかを学ぶことで、社会の課題や今の社会について考えていくきっかけとなりました。

地域での活動には、「終わり」が無いようにも思います。NPOでの活動は、自分の気持ち次第で、続けられ、他の活動にも幅が広がっていくということも、インターンに参加してわかったこと。NPOインターンシップに参加する前の私のように、「なにかしたい。」と漠然とした気持ちを持っている人にとっても、自分の軸を見つけていく良いチャンスとなりました。



なるほど！ NPOインターン 学生の声



インターンシップ参加 前後で考え方や 気持ちが変わりましたか



インターン参加学生からの声

「高校生のインターン指導では、苦手だと思っていた年下への対応が柔軟にできて**自分の新たな一面**に気付くことができた。」「**自分の知らない世界**を知ることができた。」「すぐに行動して実践力がついた。」「**将来の自分の夢**が開けてきた気がした。」「様々な人と話すことで**新たな発見**があった。」「固い印象を持っていたが、決してそうではなく、実習を通して**NPOの実際の運営**を知った。」「**仕事に対する考え方や、自己意識**が大きく変わりました。」「**社会と接することを勉強**できた」「仕事は**自己満足**ではいけないことを知った。」「**多くの方（世代も様々）と交流**させて頂き、子供たちの純粋さに触れられました」などなど

10月6日

NPOインターン成果報告会アンケート結果より

インターンシップ生の 参加理由ランキング

- 1位 NPOの活動を体験したい
- 1位 働く意味を考えたい
- 3位 大学ではできない学びを深めたい
- 3位 視野や考え方を広げたい
- 5位 新しいことに挑戦したい
- 6位 社会の役に立ちたい
- 7位 出会いや経験を得たい
自分がやりたいことを探したい
コミュニケーション力や
積極性を高めたい



インターン学生の一日

～例～アクションポート横浜
長期インターン生 佐々木昂平

インターン活動日

インターン活動開始

学生会議やブログなどを作成します。お昼は近くのカフェで☆

イベント当日に向け作業！
学生チームを作り、わいわい楽しく活動しています！！

アクションポートでは活動後、必ずと言っていいほどご飯を食べに行きます。これも活動の一つ。その日の活動を振り返ります。



普段の一日

— 8:00 —

起床。

起床。

支度・アクションポート事務所へ
家から1時間程度。

支度・通学。
通学の間は寝ていることが多い。

— 9:00 —

— 10:00 —

授業開始！
2限のゼミを真面目に
受けたあとは食堂で昼食！

— 11:00 —

— 12:00 —

— 13:00 —

～移動中、高城さん（インターン先の事務局長）からの電話。10分程度の軽い打ち合わせ～

— 14:00 —

— 15:00 —

3限後はサークルのライブ。
ギター楽しい！ライブの後は
決まって飲みに行きます。

— 16:00 —

— 17:00 —

— 18:00 —

— 19:00 —

— 20:00 —

— 21:00 —

— 22:00 —

— 23:00 —

— 24:00 —

番外編

オン・オフがしっかりとしているところもNPOインターンの良いところ。
僕はドライブが趣味なので、弾丸でいろんなところへ行きます。インターンを始めてからは特に行動的になって、休日はほとんど外出しています！笑
学業とNPOを両立させるコツは、偏らないことだと思います。NPOにばかり身を置いて、授業をサボるようでは続きません。僕は3年生の夏からインターンを始めていますが、テスト前や就活の時期には、きちんと相談して活動を減らしました。



このように、活動しやすい環境がしっかりとしているのもNPOならではのメリットだと思います。



プログラム内容

インターンの流れを
おおまかに紹介します!!

佐川 遥 (おはる)

NPO 法人アクションポート横浜
学生スタッフ
(明治学院大学 社会学部)

活動内容だけでなく、受け入れ先の人の雰囲気も知れる!



Step1

お見合い会 (5月)



参加学生と、受け入れ団体の方が直接話
することができる機会です。さまざまな団
体を見て、活動する団体を選択します。

Step2

事前研修会 (5~7月)



実際に活動するにあたって、3回の
研修会を実施。参加学生同士の交流も
深まりました。

「NPO って何？」
「わかんない！」
そんなアナタに!
インターンをより
楽しむための
研修会!
仲間になるのも
ここがチャンス。



Step3

団体との面接・決定 (7月)



希望を出したあとに、受け入れ団体
の方と面接をします。その後、
活動団体が決定します。

Step6

長期報告会 (2月)



6 か月の活動の報告を行いそれぞれの活動
を共有します。また、これからに向けて、
目標を考える機会となります。

団体の人達から
思わぬ褒め言葉を
もらう事も!
離れるのが寂しく
なったら
長期継続もアリ!



Step5

短期報告会・長期中間報告会 (10月)



活動してきたことを振り返り活動内容を
共有します。最後に、修了証を受け取り
短期のプログラムは終了です。
長期は、中間発表を同時に行います。

Step4

活動開始 (8月)



各団体に分かれ、活動を開始します。
活動中には他の団体へ行った学生同士の
交流会を開催。

何がしたいか
何をしたいか
を伝えれば
良いのよ。



ついに来たー!!
「ん?でもこんな時
私どうすればいいの?」
そんな不安は仲間同士
で共有!



ここまで来ると
団体の人とも
"ぶっちゃけられる仲" に。
ここで感じられる
空気は格別!!



NPO インターンシップ 参加学生

ぶっちゃけ トーク

「参加してどうだった?編」



2012年12月6日
NPO インターンシップに
参加した学生が集まり、
活動の経験を本音で語る
「ぶっちゃけトーク」を
開催しました。



渡辺真実 (まみ)
フェリス女学院大学



佐々木晃平 (さっきー)
明治学院大学

司会：よろしくお願いします！
じゃあ…まず自己紹介でも。

さき：村岡咲です。大学1年で、東京都江戸川区に住んでいます。音楽を聴くことが好きで、よくライブに行きます。アークシップで活動していました。

まみ：渡辺真実です。あゆコロちゃんというゆるキャラのいる厚木市に住んでいます。同じく大学1年です。趣味は映画を見ることでジョニーデップが好きです。さきちゃんとは学校が同じですが、アークシップで一緒に活動して初めて知り合いました。

さっきー：佐々木晃平です。最近は、基本的にコタツにいます。趣味はギターで、あとジョギングを今日から始めました。いつまで続くかわからないですけど(笑)座右の銘はタイムイズマネーです。アクションポート横浜で長期の活動をしています。

ゆりねえ：斉藤百合絵です。大学4年生で、今筑波にある寮に住んでいます。授業が週3回なので授業のない日は、日吉にある実家に戻ったりしています。趣味は何も計画をたてずに旅行に行くことで、今はマレーシアに行きたいです。コトラボ合同会社の運営する横浜ホステルビレッジで活動しています。

司会：NPO インターンシップに参加して、実際どうでしたか？

ゆりねえ：インターン生として、仕事を任されていたので、一人でいるときに、よく分からない処理があるときの対応が大変でした。アルバイトするより覚えることが多く、複雑だなと感じることもあります。今、外国人観光客と地域の飲食店をつなげるような活動がしたいと思っています。知らない土地に行って、知らない飲食店に入るのって勇気があるじゃないですか。わたしは、ホステルに来るお客さんの目に留まるような情報を調査しています。

まみ：活動先にはいろいろな人がいて、年齢も18歳～50歳、職種も様々で、人生経験が豊富なんです。だから皆それぞれにしっかりとした価値観を持っていて、企画の案を出す時も沢山でるんですね。良い意味で“普通”じゃない人が多いから、最初はびっくりしたし、個性的だなあと思いました。自分の中で受け入れる器が広がった気がします。

さっきー：確かに。NPOは資金的に厳しいと聞いていて、それこそNPOで働くってなったときに、結婚したらどうするんだとか、子どもが出来たらどうするんだとか、最初に考えてしまっていて「え？どうなんだろう…」と活動するまでは思っていたん

だよ。実際にNPOで働いている人を見てきて、自分たちのやりたいことをしっかり捉えてきちんと出来ている所だっていうのはイメージ通りで、変わらなかったんだけど、そういう生き方、色々な生き方が“アリ”なんだなっていうことがNPOインターンシップを通して感じるところがあったんだよね。これから就活もあるけれど、そういう意味でも視野が広がるなと思った。自分がこれからなにをしたいのかっていうことを、前よりも考えるようになったよね。

ゆりねえ：学生のうちに大人と一緒に何かやるとか、会議など色々な意見交換の場に居合わせるってすごい大きい財産になるよね。企業で働いている人も、「社会人」と紋切型に見ていたけれど、色々な人がいる。NPOへの関わる方法もさまざまだし、いろんな形でいろんな人が関わっているってことがわかった。

司会：組織で見えてしまうと一面しか見えないけれど、人を見てみるとそれぞれ違うなと思うけど、実際に人と会うことが大事なのかもしれないね。このインターンシップでは、自分の目で社会の問題や、それに対して自分が何をできるのかということを気づく機会にもなったよね。



斉藤百合絵 (ゆりねえ)
筑波大学



村岡咲 (さき)
フェリス女学院大学

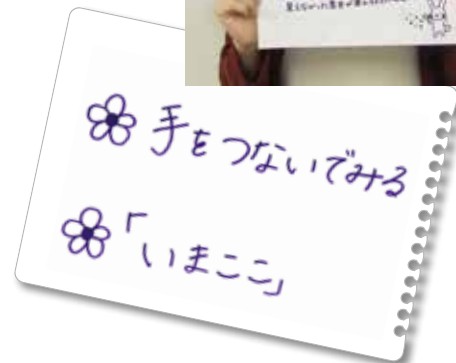


活動を振り返って & 後輩へのメッセージ

インターンシップを振り返ってみると「大発見」でした。ネガティブな発見は、自分からこうやって社会を覗いてみて、自分がいかに狭い世界で生きてきたかが分かったことで反省もした。ポジティブな発見は自分が接客が得意・好きだったことが分かったことで、アークシップにインターンができて、ネガティブなこともポジティブなことも両方大発見できたなと思う。

これからの抱負は、「責任感」という言葉を書きました。社会に出てどこに行っても責任感が関わる、と思うんですよ。それを大事にしていきたいです。

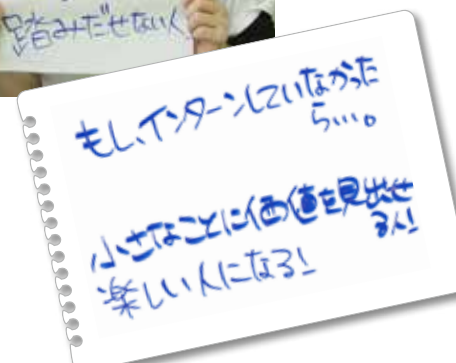
村岡咲 (大学 1 年)
NPO 法人アークシップ・短期



最初はびっくりするくらい色々な人がいて、私は違うからと言ってしまえるけど、そういう人とあえて話してみると、その人のバックグラウンドが分かってすごいなと思ったり、それが自分の新しい価値観になっていたりする。まず手をつないでみる、話してみようかなと思ってることが大切だなと思いました。

インターン先の人に相談したとき、過去にとらわれすぎてもいけないし、未来に〇〇してもいけない。今ってところに集中していれば、今自分がどんな手段を持っているのかとか選択肢が分かるよって言ってもらえた。それを大切にしていきたいなと思っています。

渡辺真実 (大学 1 年)
NPO 法人アークシップ・短期



活動を振り返ると、昔から興味はあって面白そうと思ってたけれど、なかなかやる機会がなかったことをできたのかな。まず寿町の人と場所を知って、そうしたら自分の元々の興味からつながって自分のやりたいことが見つかる。それをやる機会をもらうことができた活動だった。

出会った社会人のみなさんは人生を楽しそうに生きている。働くことも、遊ぶことも、こうしてプロジェクト等にチャレンジすることも、私も楽しく生きたいと思った。そのためには、とりあえず仕事ができるようになりたいし、時間の使い方もうまくなった方がいいなあとも思った。

人生楽しんでやるぞ!

斉藤百合絵 (大学 4 年)
コトラボ合同会社・長期

もしインターンをしていなかったら...と考えるとすごくこわいなと思う。今の自分があるのは、インターンを続けてきたことがすごく大きくて。でも学校の友達には、NPO = ボランティアと解釈をされてしまうから、あまり堅いことは言わず、芋ほりをした、社会人と話をしたなど、具体的にやったことを言うようにしています。

これから、小さなことに価値を見いだせる人・楽しい人になりたいと思っています。楽しい人というのは、楽しいことを探すのではなく、自分が楽しい人になれば、なんでも楽しく感じられるんじゃないかなと。そうなることで、自分にとって何かのきっかけにつながるような活動に出会えたらいいなと思っています。

佐々木昂平 (大学 3 年)
NPO 法人アクションポート横浜・長期



団体インタビュー

地球市民 ACT かながわ



NPO インターンシップについて

10 日間では見えない課題もあるかもしれませんが、学生には広い視野を持ってほしいと思っているので、社会を考えるきっかけになれば良いですね。ここでも活動がきっかけとなり、何年後でもふと思い出し、一緒に活動できたら嬉しいですね。

地球市民 ACT で大切にしていること

半径 3m からの幸せを大切にしています。国際協力と一言でいうと、大きいことをしているイメージがあるかもしれませんが、私たちは足元（自分の地域）をきちんと見ることも大切に活動しています。まずは、日本国内で生活している中で、毎日できることを実践していくことから。例えば、ここではランチタイム・ティータイムを通じて団体に関わる方々のコミュニケーションの場をつくっています。こうして、家族や友人など身近な人に思いやりを持って接していくことから国際協力につながってくと思っています。国際協力では、人とのつながりが一番重要なので、それが地域にも広がり、最終的には世界平和につながればと思っています。



活動内容に関して

「国際交流と協力は違う。協力は思っているものより、地味ですよ。」と、ミスマッチを防ぐ為に、学生さんには、伝えています。ここでやれることは幅広く、イベント情報発信、HP・Facebook の更新、Newsletter 編集など学生さんが活躍できる場は多岐に渡ります。ぜひ、みなさんの得意なことを活かして、なにかのきっかけにさせていただけたらと思います。

☆地球市民 ACT かながわ☆

「アジアの子ども達の明るい未来のために」
「私たち自身のより良い未来のために」
双方向に学び合い、本当の豊かさを取り戻す
事ができるよう地球市民社会の実現を
目指している。

<http://www.tpak.org/>

さなぎ達



NPO インターンシップについて

専門分野を問わず、期間中に利用者と関わる事を通して、自分で関心を持つきっかけの場にして欲しいなと思います。やりたい事があれば言ってもらって良いです。楽しい事も苦しい事も両方があるからどちらとも味わえる。そんな“楽しい(たのくるしい)”経験ができると思います。

さなぎ達に関わった人達の変化

建築や国際協力など、“福祉”が専門ではない人達も関わる事があります。でも、さなぎ達で利用者に関わる経験をし、結果的に福祉の職業についていく人達があります。寿町は高齢の人、障害（身体障害、知的障害、精神障害など個人で様々）がある人など、様々な事情を抱えた人達が集まった特殊な場所です。そういう意味で、言葉は少し違うかもしれませんが、面白い町であると思います。



学生に一言

なんでもやろうと思えばできます。特にこれといったものはなく、なんでもやりたいという人にも是非してもらいたいです。また、人とかがわるのが苦手という人にも。利用者の方の中にもそういう人達がたくさんいて、案外気が合ったりするんですよね。学生から教えてもらう事も多くて、その関係が面白いです。机では学べない、非日常的な体験をしに来て下さい。

☆さなぎ達☆

横浜中華街の裏側に位置する寿地区を中心に、生活困窮状態にある方を対象として、“自立自援”を目指し、様々な取り組みを行っている。

<http://www.sanagitachi.com/>



インターンシップで作る 学生と NPO の幸せな関係

これまでインターンシップを通じて様々な成果を上げてきましたが、学生がより「NPO で活躍し、成長する」には、「NPO がより学生の力を活かして活動力を高める」にはどういう場を作っていけばよいか、今回は 2 つのワークから見えて来た内容をまとめて見たいと思います。

やはり目標設定が鍵

インターンシップの大きな特徴として目標設定が挙げられました。学生を受入れている NPO はたくさんあるのですが、目標設定が受入ポイントとなるのは期間限定でスタッフとして関われるインターンシップならではのポイントのように思われます。目標については学生自身が自分のやりたいこと、このインターンで得たいものははっきりさせることが大事ではありますが、実際は活動未経験で何ができるかわからない、イメージできないことも

多く、団体側からのアプローチも大事です。また、団体にとってもやってほしいことや関わってほしいことなどのメニューもあると思うので、初回には双方が一定期間で何を達成できるのかを考え、すり合わせるための「オリエンテーション」を行うことが必要であると思います。また、やりたいことが見つかるケースも多いので、長期間のインターンであれば特に定期的に目標について双方が確認をする機会が必要になってきます。

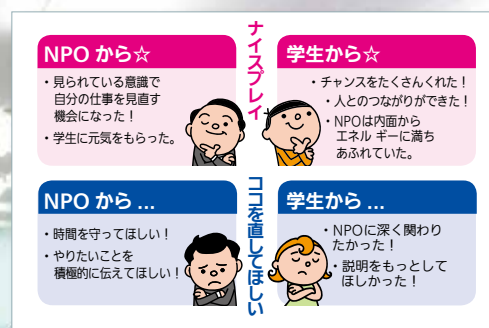
交流をする機会がよりよいインターンシップを創る

もう一つ、大事なことは交流する機会をどれだけ創れるかということ。これは学生間のつながりと学生・団体間のつながりとの 2 種類あります。前者の場合は、インターンシップを体験する上で、学生同士がつながり、刺激し合う、支え合える関係を創ることであり、これは継続して活動をするモチベーションを保つ上でも大事なポイントです。このインターンシップ事業のように中間支援団体がインターンシップ事業の仕組みを創っていることで、他の団体で活動する学生間のつながりも研修や報告会で創ることができるのは単独でインターンを受入れる際とは違った、よい点になると体験談等からわかりました。

また、後者は団体と学生がいかに関係性を取りやすい関係を築けるかということで、受入がうまい団体では、活動後にご飯を一緒に食べたり、振り返りの会でお互いの本音を話し合う機会を創ったりと、作業だけでない人間としての付き合いも大事にしていることが多かったです。こうした関係性が日頃から築かれていくことで、目標や思いのずれなども日々軌道修正ができ、より効果的なインターンシップ活動を行うことができるのだと思います。

ワーク 1 「学生・NPO 双方から見た インターン振り返り」

このワークは短期インターンシップに参加した学生と受入を行った NPO 担当者で行ったワークです。ここでは学生、NPO の双方の立場から関わって見えた「ナイスプレー」と逆に関わって見えた「直してほしい」部分をお互いの立場から意見を出し合いました。



ワーク 2 「学生・NPO 双方から見た インターンのコツ」

このワークは長期インターンシップに参加した学生、受入団体と会場に来てくれた参加者で行ったワークです。実際に学生の立場、NPO の立場でインターンをよりうまく活かしていくコツについて語り合いました。

どうしていけばよいだろう？ ～①コミュニケーション編～

POINT 1

話せる場づくり、雰囲気づくり
密接なつながりを築くために

- ・話合える機会を多く。
- ・ありがとうとよくこそを大切に！
- ・仕事以外の関わりをもつ。
(一緒にごはんを食べる、飲む！)

どうしていけばよいだろう？ ～②目標設定編～

POINT 1

やりたいことや目標の見える化をする！

- ・始める前にお互いにニーズのチェック。
- ・手段の具体化、目標を明確に。
(長期・短期目標)
- ・振り返る場・振り返りシート。



参加団体一覧

詳しくは HP を見てください

特定非営利活動法人 アークシップ

分野：まちづくり・アート

<http://www.arcship.jp/>

特定非営利活動法人 WE21 ジャパン

分野：リサイクル・国際協力

<http://www.we21japan.org/>

片倉うさぎ山公園 遊び場管理運営委員会

分野：プレイパーク

<http://usagiyama-pp.net/>

さわか港南

分野：交流の場・福祉サービス

<http://www.kounan-portal.com/3242/>

特定非営利活動法人 障害者自立支援センター

分野：障害者自立支援

<http://hamajiritsu.blog110.fc2.com/>

綱ヶ崎公園プレイパーク 管理運営委員会

分野：プレイパーク

<http://www.geocities.jp/taigasakipp/>

特定非営利活動法人 かながわ外国人すまい サポートセンター

分野：外国籍住民支援

<http://www.sumasen.com/>

特定非営利活動法人 教育支援協会

分野：子どもの体験学習支援

<http://www.live.kyoikushien.org/>

特定非営利活動法人 グリーンママ

分野：子育て支援

<http://www.midori-ippo.com/>

特定非営利活動法人 地球市民ACTかながわ

分野：国際協力

<http://www.tpak.org/>

特定非営利活動法人 鶴見川流域ネット ワーキング

分野：環境保全（川）

<http://www.tr-net.gr.jp/>

日本の竹ファンクラブ

分野：環境保全（竹林）

<http://takefan.jp/>

コトラボ合同会社 (ヨコハマホステルヴィレッジ)

分野：コミュニティ再生・起業

http://koto-lab.com/KOTOLAB_-_top.html

地域ビズ左近山 (あんさんぶる)

分野：交流の場・カフェ

<http://sawa-info.net/?p=474>

特定非営利活動法人 さなぎ達

分野：ホームレス自立支援

<http://www.sanagitachi.com/>

特定非営利活動法人 ビーのビーの

分野：子育て支援

<http://www.bi-no.org/index.html>

株式会社フェアスタート

分野：就労支援

<http://fair-start.co.jp/>

特定非営利活動法人 横浜 NGO 連絡会

分野：国際協力

<http://ynn-ngo.sakura.ne.jp/>

特定非営利活動法人 さくらザウルス

分野：子育て支援

<http://www.sakurazaurusu.jp/>

特定非営利活動法人 横浜コミュニティ デザイン・ラボ

分野：情報・メディア

<http://yokohamalab.jp/>

特定非営利活動法人 アクションポート横浜

分野：市民活動支援

<http://actionport-yokohama.org/>

